



臨床心理部

●主な業務

心理検査

図形や数字、言語、絵などを利用する知能検査や精神発達に関する検査、性格や心理状態を把握するための検査などを、目的に合わせて行うことで、患者さんについて理解するための心理学的アセスメント(評価)を行います。

心理相談

小さなお子さんに対して行う遊戯療法をはじめ、箱庭療法や親子・家族面接、カウンセリングや、自律訓練法、交流分析などを用いながら、患者さんの心のケアを行っています。

臨床心理部は、兵庫医科大学病院の各診療科において、患者さんの心理的問題への理解が診断や治療をするうえで役立つと考えられる場合や、診療に関連して心理的なケアが必要と判断される場合などに、主治医の依頼に応じて各種心理検査や心理相談を行っている。



小さなお子さんの場合は、おもちゃなどを使って一緒に遊ぶことが、治療となります(遊戯療法)



箱庭療法は、砂箱の中に人形などのアイテムを自由に配置することで、心理状態を分析すると同時に心を癒します



患者さんの不安を和らげるのが仕事です

臨床心理部
村田 正章 部長

臨床心理部は、患者さんの不安をなるべく少なくし、診療科による診断・治療がよりスムーズに進むように支援する部門です。兵庫医科大学病院は、1972年の開設当初から、患者さんの心のケアを重視しこのような部門を設置しています。心理スタッフがいる病院は多いですが、診療科とは別に臨床心理部がある病院は全国的にも例がないと思います。

現在、臨床心理士4名が、診療科からの依頼を受け、予約制で心理検査や心理相談を行っています。

病棟に足を運び、不安を感じている患者さんやご家族に声をかけることもあります。当院は多くの診療科を持つ病院ですから、生まれたばかりの新生児から高齢者まで、ありとあらゆる患者さんがいらっしゃいます。認知症の診断のために知能検査や認知機能の検査などを行うこともありますし、がんなどの病気にかかられた患者さんの場合は、ご家族に対してのケアを行うこともあります。NICU(新生児集中治療室)では、入院中はもとより退院後のお母さんの不安をいかにバックアップするかも大切です。

心の動きや置かれている状況などは人によって異なります。それぞれに見合った方法を取り入れながら、患者さんの不安を少しでも和らげ、前向きになっていただくのが私たちの仕事です。